

あなたと健康をひらく広報誌

あいのまど

Take Free

ご自由にお持ち帰りください

秋田赤十字病院

No.53

2023

AI no MADO



特集：乳がん治療について
乳腺外科

contents

部署紹介：がん相談支援センター

健康コラム：知っておきたい薬の知識「割ってはいけない薬」

竿燈慰問演技・日赤竿燈会

「キッズタウン2023」を開催しました！

がん検診のすすめ～早期発見のチャンスを逃さないで！～

裏面には
外来診療一覽も
ついています



COVER PHOTO
ひょうしのしゃしん



キッズタウン2023

5月28日(日)に日本赤十字秋田看護大学・同短期大学にて開催された赤十字キッズタウン2023の様子です。
子どもたちが赤十字職員になりきって働き、学び、楽しみながらお仕事体験ができるイベントです。このイベントをきっかけに赤十字の活動に興味を持ってくれたら嬉しいです。
開催報告を本誌5ページのにつせきアラカルトに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

「あいのまど」の由来

当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。
その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。

特集

乳腺外科

乳がん治療について

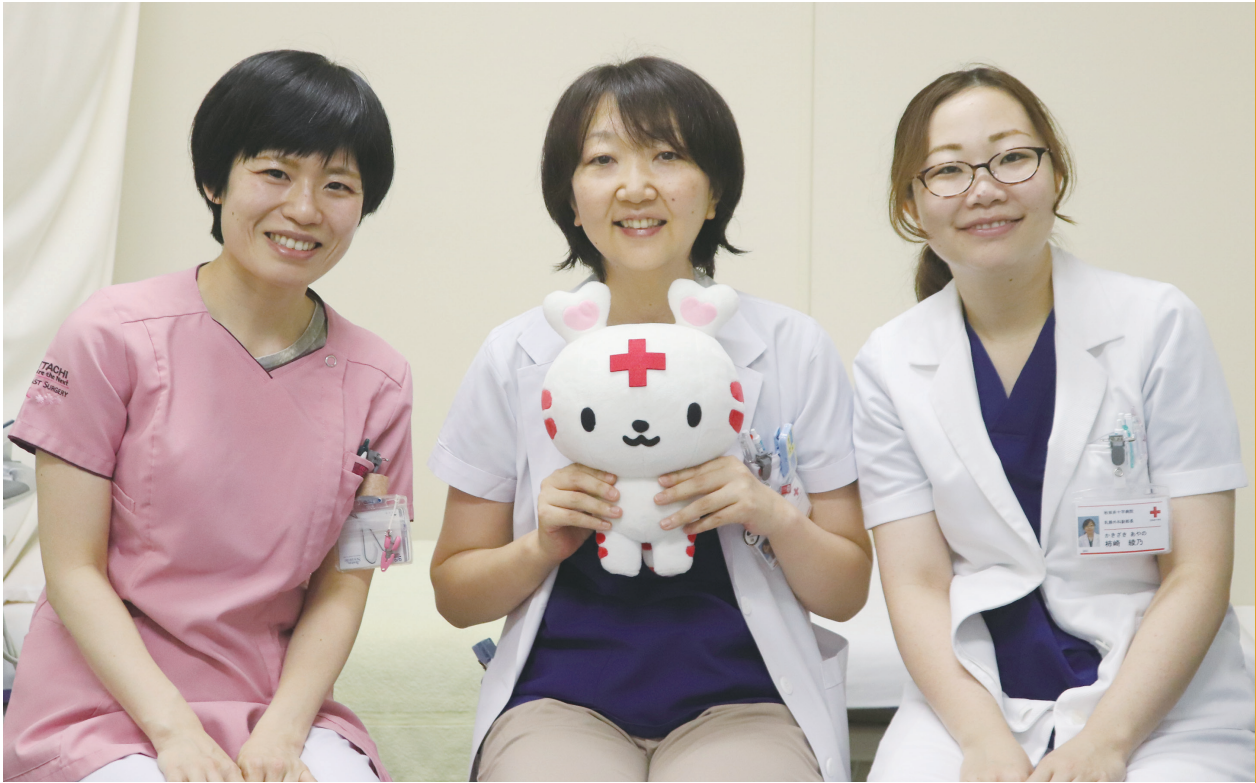
Breast surgery

乳腺外科部長
伊藤 亜樹

日本外科学会外科専門医
日本乳癌学会乳腺専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本リンパ浮腫学会リンパ浮腫保険診療医
日本医師会認定産業医
臨床研修指導医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
ひとこと:ひとりひとりにあわせた乳がん治療を。

乳腺外科副部長
若木 暢々子

日本外科学会外科専門医
日本乳癌学会乳腺認定医・専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
臨床研修指導医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
ひとこと:患者さんと歩むがモットーです。
気軽にご相談を。



乳腺外科副部長
柿崎 綾乃

臨床研修指導医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
ひとこと:患者さんに寄り添った医療を目指しています。

乳腺外科



乳腺外科のページはこちら

平成25年4月 診療科再編にて乳腺外科開設
乳腺の疾患を対象とした診療科です。
秋田市のみならず県内の総合病院やクリニックと協力しながら乳がんを始めとする乳腺疾患の専門的な医療を適切に提供できるようにしています。



乳がんについての市民公開講座が
ホームページから閲覧可能となっております。

乳がんは全身病

乳がんは大きく分けて乳管の中にがんがとどまる非浸潤がん、乳管の外にでしこりを作る浸潤がんに分けられ、乳がんの多くの方は浸潤がんで見つかります。浸潤がんになると血管やリンパ管を通じてがん細胞が全身をめぐるっていると考えられており、全身病とたとえられます。

乳がんの治療について

遠くの臓器に転移がない場合は手術を中心として治療を考えます。乳がんはがん細胞のホルモン受容体、HER2タンパクなどにより大まかなタイプに分けられますが、タイプや進行度によっては手術前の化学療法を提示することがあります。手術前のホルモン療法は今のと

ころ強く勧められる治療ではありませんが、限られた方に考慮する場合があります。

手術については大きさや広がりによって部分切除あるいは全摘術の方法があり、全摘の場合は希望に応じて乳房再建も考慮されます。部分切除の場合は放射線治療が必須です。

手術後の治療はタイプやリンパ節転移の状況、再発リスクや、最近だとBRCAという遺伝子に変異があるかどうかによって手術後どの種類の薬物療法を行うかが決まってきます。先ほどのとおり乳がんは全身病と言われるため、手術に加えて薬物療法が勧められます。

一方で、乳がんが見つかった段階で遠くの臓器に転移がある、手術後の再発、場合によっては局所(しこりやリンパ節)が

進行しているときには、がんの進行を抑えることを目的とした薬物療法が勧められます。この場合はなかなか根治が難しく、薬物療法も一時期有効であってもそのうち効きにくくなることが多く、薬物の種類を変えて順次治療を行っていきます。

ひとりひとりに合わせた
乳がん治療を

人の見た目が違うように、乳がんの状態もひとりひとり違います。当院では患者さんにとって何がベストの治療か、患者さんに提示し相談しながら治療を進めています。乳がんは40代から60代でまだまだ働き盛りの方が多くかかる病気です。生活のこと、仕事のこと、お金のことなど心配事も多々生じます。外来やがん相談支援センターでいろいろと対策を考えながら、スムーズに治療を進められるようにサポートしていきたいと考えております。

知っておきたい薬の知識 割ってはいけない薬

錠剤が大きくて飲みにくい場合などで、ご自身で半分に割って飲もうとすることがありますよね。しかし、病院から処方されるお薬には、半分に割ったり、噛んだりしてはいけないものがあります。今回は、「割ってはいけない薬」の理由について分かりやすくご説明します。



1 糖衣錠・フィルムコーティング錠

これらのお薬は、苦みや嫌な臭いをコーティングして飲みやすくしたり、湿気や光による劣化を防ぐために作られています。半分に割ると、割れた部分からお薬の成分が溶け出し、苦みなどを感じやすくなります。

例) アリナミンF糖衣錠、クレストール錠など

2 腸溶錠

腸溶錠には特殊なコーティングがされており、お薬の成分が胃で溶けずに腸で溶けるようになっています。とくに、胃への負担が大きい場合や胃酸に弱い場合などに使用されます。このお薬を半分に割ると、期待された効果が得られないだけでなく、副作用のリスクも高まってしまいます。

例) パリエット錠、アザルフィジンEN錠など

3 徐放錠

徐放錠は、お薬の成分が少しずつゆっくりと溶け出し、長時間にわたって効果が期待できるように設計されています。しかし、このお薬を半分に割ると、お薬の成分が早く溶け出してしまい、効果が短い時間に集中的に現れたり、副作用が出やすくなったりすることがあります。

例) アダラートCR錠、フェロ・グラデュメット錠など

お薬を適切に服用して、しっかりと効果を得ることが重要です。

錠剤が大きくて飲むのが難しい場合などでお困りの場合は、いつでも近くの薬剤師に相談してください。

部署紹介

がん相談支援センター



がん相談支援センター運営委員会のメンバー

「がん相談支援センター」は、全国のがん診療連携拠点病院などに設置されているがんに関する相談窓口です。がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができ、患者さんやご家族のほか、医療保健福祉機関の関係者など地域の方々はどなたでも無料でご利用いただけます。

当院のがん相談支援センターは1階患者支援センター内にあります。がん看護を専門とする看護師や生活全般の相談ができる医療ソーシャルワーカーが、国立がんセンターの研修を修了し、がん専門相談員として相談に応じております。がんに関する様々な相談に応じるためにがん相談支援センター運営委員会が設置され、委員である医師・薬剤師・管理栄養士・公認心理師の協力を得ています。

がん対策に基づき長期療養者の就職支援・治療と仕事の両立支援、アピランスケア※、がん患者コミュニティサロンの運営なども行っています。相談内容は、症状や副作用、食事・



がん情報コーナーには関連冊子が充実

服薬・入浴などの日常生活に関すること、不安や精神的苦痛、医療費や生活費・社会保障制度などが多く、毎年950件程度の相談を受けております。薬局の向かい側にあるがん情報コーナーでは、病気や治療、療養生活について情報を集めることができます。各種がん冊子も取り揃えておりますのでお気軽にご利用ください。

がんの診断から治療、その後の療養生活、さらには社会復帰と、生活全般にわたって疑問や不安を感じたとき、一人で悩まず気軽に「がん相談支援センター」にご相談ください。

※外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

がん検診のすすめ～早期発見のチャンスを逃さないで！～

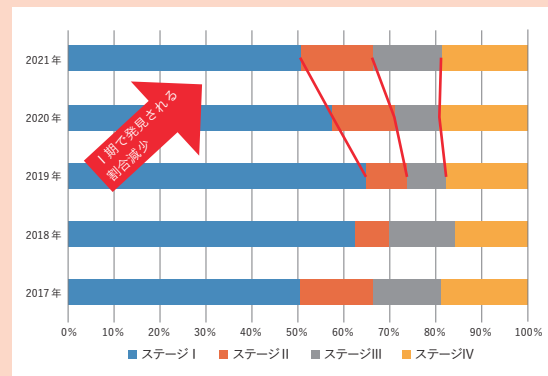


図1: 胃がんの病期別割合

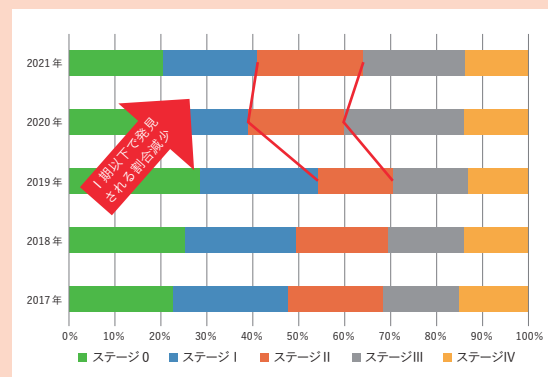


図2: 大腸がんの病期別割合

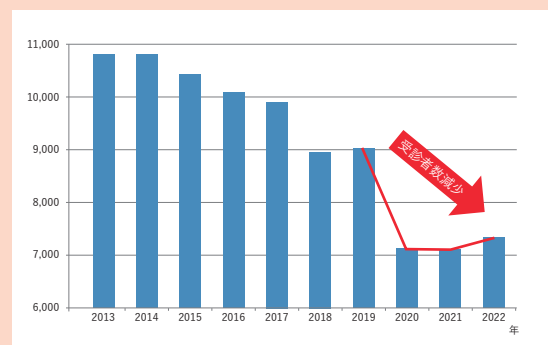


図3: 年度別人間ドック受診者数

2020年以降、新型コロナウイルスの感染拡大は人々の行動制限などを伴う大きな社会的影響をもたらしましたが、がん診療の分野においても大きな影響を及ぼしました。当院で実際にどのような影響があったか、胃がん、大腸がんを例に調べてみました。発見されたがんの病期（ステージ）についてみると、胃がんでは2019年と比べ2020年と2021年は1期の割合が減少し、III期の割合が増加していました（図1）。大腸がんでも同様に、0期、1期の割合が減少し、III期の割合が増加していました（図2）。患者さんの受診控えのみならず、一時期不要不急の検査を制限し、早期発見の契機となる無症状者のがん検診受診者数が減少した一方、がんの進行により自覚症状が出現してから、病院を受診し検査で発見された患者さんが一定数いるためと考えられます。

人間ドック受診者数は、2022年になっても減少したままで、受診控えの状況が依然として続いていることが明らかになりました（図3）。

胃がん、大腸がんともに0期、1期で発見されれば90%以上の5年生存が期待できる疾患です。また、がんは早期の段階ではほとんど自覚症状はありません。検診や通院を控えたことにより、無症状で発見されるケースが減少し、早期発見のチャンスを逃した患者さんが相当数いるものと推測されます。是非、がん検診を受けてください。

竿燈慰問演技・日赤竿燈会



8月3日から6日まで秋田竿燈まつりが開催され、日赤竿燈会も昨年に引き続き参加しました。3日午前には秋田銀行竿燈会、下鍛冶町竿燈会、日赤竿燈会による慰問演技が秋田赤十字乳児院、秋田赤十字病院にて行われました。迫力のある演技に会場に集まった方々から大きな拍手が送られました。



「キッズタウン2023」を開催しました！



のみぐすりを仕分け

今後多くの人に赤十字を知っていただけるよう、感染対策も考えながら様々なイベントを開催できればと思います。

5月28日（日）に日本赤十字秋田看護大学・同短期大学にて「赤十字キッズタウン2023」を開催しました。これは、5月の赤十字運動月間に合わせて、平成24年より県内赤十字施設（支部、血液センター、乳児院、看護大学・短期大学、当院）が合同で行っているイベントです。内容は子どもたちが赤十字職員になりきっての「お仕事体験」がメインとなっています。コロナのため令和元年の開催を最後にしばらく実施しておらず、今回久しぶりの開催となりました。当日は全体で110人の子どもたちに参加してもらえました。今回は感染対策も考慮して、募集人数も例年の半分以下となりましたが、参加者アンケートでは、親御さんの約94%から「とても楽しそうだった」「楽しそうだった」との回答をいただきました。

編集後記

今年の夏は秋田竿燈まつりをはじめとした夏祭りが各地で開催され、これまでの日常が戻ってきました。毎年大曲の花火を見ると、「今年の夏も終わりか」と感じますが、今年の夏はまだ終わりそうにありません。この暑さはいつまで続くのか。年々、秋が短く感じるのは私だけでしょうか。

さて、あいのまど53号はいかがでしたでしょうか。今号ではがんについての記事を多く掲載しました。がん検診のすすめにもありますとおり、新型コロナウイルスの影響でがんの早期発見が減っているようです。ぜひ今号をきっかけに「がん検診」を受けてみてはいかがでしょうか。（企画調査課 瓜生）

NICU卒業生 親子の会「めんちょこの会」

新生児集中治療室への入院経験を持つ親子同士の交流や情報交換、なつかしいスタッフとの再会、育児や発達の相談などを目的にした会です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

- 日時: 令和5年10月5日（木）13:00～14:30
- 会場: 秋田赤十字病院 2階 多目的ホール
- 参加費: 無料
- 参加申し込み・問い合わせ先
小児科外来受付（☎018-829-5000）



外来診療のご案内

(令和5年9月1日現在)

診療科目	午前/午後	月	火	水	木	金
泌尿器科	午前	○	○	○	○	○
神経内科 (予約制)	午前	○	○	予約のみ	○	○
	午後			予約のみ		
整形外科	午前	○	○	○	○	○
	午後			予約のみ		
内科	午前	○	○	○	○	○
	午後			予約のみ		
代謝内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ	○	○	○	予約のみ
腎臓内科	午前	○	○	-	○	○
	午後	-	-	予約のみ	-	-
血液内科	午前	○	予約のみ	予約のみ	○	-
心臓血管外科 (予約制)	午後	-	-	○	-	-
循環器内科	午前	○	○	○	○	○
消化器(肝胆膵) (予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	-	-	IBD	IBD	-
消化器(消化管) (予約制)	午前	○	○	○	○	○
消化器外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	○
小児科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後			予約のみ		
小児外科 (予約制)	午前	-	-	-	-	○
産科	午前	○	○	○	○	○
	午後	妊婦健診・産後1か月健診のみ				
婦人科	午前	○	○	○	予約のみ	○
眼科 (予約制)	午前	○	○	○	○	第4
	午後			検査		
脳神経外科	午前	○	○	○	-	○
呼吸器外科	午前	○	紹介・予約のみ	第2・4(予約のみ)	予約のみ	○
緩和ケア内科 (予約制)	午後	-	-	-	-	○
乳腺外科 (予約制)	午前	○	○	○	第2・4	予約のみ
	午後	○	○	○	-	-
呼吸器内科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
形成外科	午後	○	-	○	レーザー治療	○
皮膚科	午前	○	○	予約のみ	○	予約のみ
耳鼻咽喉科 (予約制)	午前	予約のみ	○	○	○	予約のみ
	午後	-	めまい(第2・4)	めまい	-	めまい
精神科 (予約制)	午前	○	予約のみ	○	○	○
	午後	○	予約のみ	○	-	○
腫瘍内科	午前	○	○	予約のみ	○	○

※神経内科、心臓血管外科、消化器(肝胆膵)、(消化管)、小児科、小児外科、眼科、緩和ケア内科、乳腺外科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、精神科は原則として予約制です。10月より泌尿器科、形成外科も予約制となります。

予約制とは・・・当日受付不可の事です。

※休診日、診療時間外に関係なく、救命救急センターは24時間対応しております。

右記QRから受付時間・診療時間の詳細にアクセスいただけます



受付時間 診療科、曜日により異なります。

診療時間 8:30～17:00
(診療科、曜日により異なる場合があります)

休診日 土・日曜日、国民の祝日、
12/29～1/3、7/1(創立記念日)

面会時間 面会制限中

詳細は当院ホームページをご覧ください。

紹介状をお持ちの方

初めて受診する方は、地域医療機関(最寄りの医院・病院)からの紹介状をお持ちください。
電話で予約も可能です。
予約先: 地域医療連携室 018-829-5233(直通)
平日 8:30～17:00

紹介状をお持ちでない方

予約先: 各科外来窓口 018-829-5000(代表)
平日 14:00～16:00
紹介状をお持ちでない方は、診療費の他に初診時の選定療養費*として7,700円(税込)をご負担いただきます。
*選定療養費…国が病院と診療所の機能分担の推進を図るために定めた制度です。